

令和元年度 前期学校評価について

先日はお忙しい中アンケートにお答えいただきありがとうございました。
集計の結果がまとまりましたので報告いたします。

今回は、児童・保護者・教職員それぞれから実現度をたずねるアンケートになっています。

			はい	だいたい	あまり	いいえ	わからない
設問1	児童 保護者 教職員	勉強(べんきょう)がよくわかりますか	48%	40%	11%	1%	1%
		お子さんは勉強がよくわかるといっていますか	17%	59%	20%	3%	1%
		よくわかる授業	0%	89%	6%	0%	6%
設問2	児童 保護者 教職員	家(いえ)で毎日(まいにち)学習(がくしゅう)していますか	54%	23%	16%	6%	1%
		お子さんの家庭学習は習慣化していますか	19%	52%	22%	7%	0%
		家庭学習が習慣化する指導	6%	61%	33%	0%	0%
設問3	児童 保護者 教職員	すすんであいさつをしていますか	42%	31%	21%	5%	1%
		お子さんはすすんであいさつしていますか	21%	43%	30%	5%	1%
		すすんであいさつをする指導	28%	50%	22%	0%	0%
設問4	児童 保護者 教職員	きまりを守(まも)っていますか	55%	39%	5%	1%	1%
		お子さんはきまりを守っていますか	27%	59%	12%	3%	0%
		きまりを守る指導	33%	61%	6%	0%	0%
設問5	児童 保護者 教職員	誰(だれ)からも大切(たいせつ)にされていますか	55%	21%	9%	4%	11%
		お子さんは誰からも大切にされていますか	70%	29%	2%	0%	0%
		誰もが大切にされる学級づくり	28%	72%	0%	0%	0%
設問6	児童 保護者 教職員	早寝・早起き(はやね・はやおき)をしていますか	33%	39%	20%	7%	1%
		お子さんは規則正しい生活ができますか	26%	58%	14%	3%	0%
		規則正しい生活の指導	11%	78%	11%	0%	0%
設問7	児童 保護者 教職員	防犯(ぼうはん)や安全(あんぜん)に気(き)をつけていますか	78%	14%	5%	3%	1%
		お子さんは防犯や安全を意識できていますか	29%	52%	18%	1%	1%
		防犯や安全についての指導	28%	72%	0%	0%	0%
設問8	児童 保護者 教職員	学校(がっこう)が楽(たの)しいですか	59%	26%	10%	5%	1%
		お子さんは学校が楽しそうですか	45%	47%	6%	2%	0%
		学校が楽しいと思える学級づくり	28%	72%	0%	0%	0%
設問9	児童 保護者 教職員	困(こま)ったときは誰(だれ)かに相談(そうだん)していますか	50%	24%	15%	9%	2%
		お子さんは困ったときは誰かに相談していますか	30%	57%	9%	2%	3%
		相談しやすい人間関係づくり	22%	78%	0%	0%	0%
設問10	児童 保護者 教職員	どんなことにもすすんで取り組(ぐ)んでいますか	40%	41%	15%	2%	2%
		お子さんは何事にも積極的に取り組んでいますか	20%	53%	25%	2%	1%
		主体性を育む指導	11%	67%	22%	0%	0%
設問11	児童 保護者 教職員	自分(じぶん)には良いところがあると思(おも)いますか	50%	22%	12%	7%	10%
		お子さんは自分の良さを意識できていますか	16%	55%	24%	3%	3%
		自尊感情を育む指導	11%	83%	6%	0%	0%

この学校評価アンケートは、「学校教育目標」や「めざす子ども像」の具現化に向けた各種取組を、児童・保護者・教職員から見た実現度を比較することで、現在の学校の取組を評価し、今後の改善策を練り学校運営や学級経営に生かすことをねらいにしています。

今年度は、学校教育目標を「今と未来を考えて行動できる子どもを育てる」に変え、全国学力学習状況調査の結果を受けて、質問項目の精選・変更・追加をいたしました。

集計すると概ね「はい」「だいたい」が80%以上の肯定的な結果が出ています。特に昨年度課題として挙げていた「防犯・安全」「楽しい学校・学級」については明らかな改善がみられています。引き続き「はい」が100%になるように努力していきます。

一方、「家庭学習」「あいさつ」「主体性」「自尊感情」については、肯定的な回答が80%を切っています。例年「家庭学習」「あいさつ」の2項目については低くなる傾向があり、なかなか取組の成果が表れていません。また、「家庭学習」「主体性」そして「自尊感情」については6年生の「全国学力・学習状況調査」でも、全国に比べてずいぶん低い結果が出ています。「自尊感情」については学年を追って低くなる傾向が見られます。すべての活動・授業を通して自己決定の場を設定し、自己存在感を感じ共感的人間関係を育てていくことで主体性や自尊感情を育めるよう、取組を進めています。

また、集団登校についてもご意見を多数いただきました。肯定、否定が3:2程度で、安全面や地域での子どもたち人間関係、地域委員の負担についての意見が多かったです。安全面を最優先し、PTAや自治連とも検討を進めています。